

# 2011年9月16日（金）新生宣教団 宣教祈祷会

お茶の水クリスチャンセンター B1 アイリーンホール 午後3時～5時

地震、津波、福島原発で被災され教会員の皆様と共に、奥多摩のキャンプ場へ非難されている、福島第一バプテスト教会牧師の佐藤彰先生をお迎えしました。

3月11日、何気ない日々から一変、すでに6ヶ月になる非難生活。当初の厳しさ、報道と現実の違いなど。直接経験した事柄と証しを通して、みことばの分かち合いの時となりました。



震災当日の被災状況を写真などでご報告いただきました。淡々と語る佐藤師。

下記のみことばが実際に体験した事と重なり、今の現実をどのように受け止めていったら良いのかとの葛藤、非難をしつつ場所が定まらない不安、教会員約60名を連れて移動する事への不安はある、しかし主は共にいまし、教会は生きていることの実感を語られました。

ペテロ I 4:12-13、イザヤ 43:1-2, 4

ローマ 8:18-23 詩篇 119:71

イザヤ 11:1, 6-10 エペソ 1:22-23

メッセージの最後で今後の予定が報告されました。9/16 来年に向けて新会堂のための土地の契約をしてきたとの報告がありました。厳しい生活は続くが国内外の多くの方からの励まし、ご支援に支えられながら一步を踏み出したいと締めくくられました。お話の後、関東大震災後に作られた賛美歌「遠き国や」を賛美しました。



最後に福島第一バプテスト教会と日本のために、また全国で用いられている HOPE for LIVING のために会衆一同心を合わせて祈りました。支援と祈りはまだまだ継続されていきます。

文、写真：赤松